

緩和ケア病棟のご案内



医療法人 協和会
第二協立病院

2024年6月改定

【緩和ケア病棟とは・・・】

治癒を目指した治療の継続が困難と診断、もしくは十分な病状説明後に、治癒を目的とした治療を拒否した悪性腫瘍もしくは後天性免疫不全症候群の患者様で、身体的、および精神的苦痛があり、専門的な緩和ケアを受ける必要がある方のための入院施設です。

【医師からのごあいさつ】

今やがんは国民病とも言われ、多くの方の大切な命や人生を脅かす病です。そのような病を患う患者様・ご家族様にとっては、それはさぞつらいことかと思います。

緩和ケア病棟と聞くと、あまりよいイメージを持たれない方もおられるかもしれません、痛みなどの苦痛をできる限り和らげる緩和治療を行う場所であるとともに、病気により損なわれている自分らしく生きるということを支える場所でもあります。

変化が激しい時代、医療を取り巻く状況も日々変化しておりますが、ホスピスマインドの源流であるおもてなしの心を忘れずに、患者様・ご家族様の苦痛・苦悩を少しでも和らげるお手伝いができたらと願い日々取り組んでおります。

【看護師からのごあいさつ】

私たち緩和ケアの看護師は、患者様・ご家族様のQOL（生活の質）について常に考え、日々協議しております。患者様・ご家族様が今まで大切にされてきたこと、これからも大切にしていくことを共有し、共に喜び、時には悩み、命（生）に対する考え方を尊重して過ごせるよう支援させていただきます。

最後のお別れは辛く寂しいのですが、残されるご家族様が今後を生きていく為に必要な時間と捉えています。

患者様・ご家族様の大切な時間がより穏やかにお過ごしいただけるよう、私たち看護師は日々精進してまいります。

患者様ひとりひとりの大切な人生の終焉に関わることは、私たち看護師の人生の糧となり、悲しみもまたそれに替えて心の成長をしながら患者様・ご家族様と接しております。

日々、皆様とのご縁に感謝し、心の通った温かい看護を提供したいと考えております。

【入院・退院について】

【入院の対象となる患者様】

- がんと診断され、がんによる苦痛をかかえる患者様が入院の対象となります
- ◇ 病状が進行して、ご自宅で過ごすことが難しくなった緩和ケア病棟での看取りを希望される方
 - ◇ 入院して痛みや呼吸苦等の症状緩和をご希望の方
 - ◇ ご家族様が介護に疲れてしまい休養が必要な時、又はご都合で介護が難しい時期に、短期間入院をご希望の方（レスパイト入院）
- ※ベッド調整が必要となりますので、入院日はご家族様の希望通りに調整ができない場合があります

【緩和ケア病棟への入院】

患者様・ご家族様が以下をご理解された上で、入院を希望されていることが重要です

※患者様自身が理解ができない状況にある場合はご家族様のご理解のみでも可能

- ◇ 緩和ケア病棟では、がんの進行を抑える積極的な治療は行いません。身体や気持ちのつらさを和らげる治療やケアを行なっています。
- ◇ 無理な延命治療は行いません。
(心肺蘇生処置・心臓マッサージ・人工呼吸器の装着などは行いません。
昇圧剤の投与・輸血・透析治療などの延命に準ずる医療行為も原則的に
は行いません。)
- ◇ 治療や療養の方針については、患者様・ご家族様と十分話し合いを行い決めていきます。

【退院について】

- ◇ 患者様・ご家族様が退院を希望される場合
- ◇ 苦痛症状が緩和され病状が安定した場合
- ◇ がんに対する積極的治療の再開を希望されている場合
- ◇ がん以外の病気の治療を優先させる必要がある場合
- ◇ 暴言・暴力・ハラスメント等、医療者及び他の患者様への迷惑となる発言・行動が続く場合

【リハビリテーションについて】

患者・家族様の希望に基づき、オーダーメイドのリハビリを提供します。
残された能力を上手く活かしながら、その時期における出来る限り可能な、
最高の日常生活を実現することを目的とします。

リハビリの内容

1. 身体機能の維持
2. 動作能力の維持
3. 痛み・呼吸苦の緩和
4. 環境への支援
5. 福祉用具の提案
6. 精神面のケア

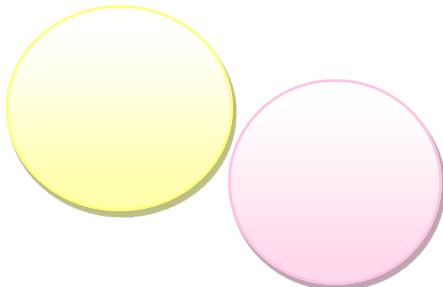
『園芸』



『手工芸』



『調理』



【お薬について】

緩和ケアでは、痛みなどの症状を和らげるために、お薬を使用することがあります。
使用するお薬について、患者様・ご家族様に十分な説明と情報を提供し、お薬に対する不安
や疑問を取り除くことで、安心して過ごしていただけるようにサポートさせていただきます。
錠剤が飲みにくければ、お薬をつぶすなど、患者様の状態に合わせたお薬の飲み方も提案させていただきます。

【お食事について】



入院後は管理栄養士が訪問し、患者様お一人お一人の病状・嗜好に応じた
食事の提案をさせて頂きます。ご家族の皆様ともご相談しながら、
食事のひとときを楽しんで頂けるよう努めています。
また、日々の食事の他に夏祭りやクリスマスなど季節に応じた食事の提供も行っています。



【緩和ケア病棟入院までの流れ】



電話相談

患者様、ご家族からの電話相談、また
医療機関からの電話相談をお受けします。
【地域医療連携室宛】
TEL(代)072-758-1123
TEL(直通)072-758-1149
（直通）

書類提出

必要な書類をご準備いただき、当院の地域医療連携室宛に郵送もしくはFAX、持参で提出をお願いします。
※持参いただく場合は事前に相談員までご連絡をお願いします。

入院判定会議

提出いただいた書類により、入院判定会議を実施します。

判定後

面談無しの場合

申し込み完了の書類送付

面談有りの場合

外来面談日を調整します

面談実施時間:月～金

(14:30~/15:30~)

面談無し

登録

登録完了です。

早期の入院希望でない場合は登録のみ
行い、入院をご希望の際に改めて
御連絡をいただいくこととなります。

入院面談（緩和ケア外来）

④〈面談当日の持ち物〉

· 健康保險被保險者証

- ・レントゲンのCD-R
- ・診療情報提供書の原本(面談までに)

- 提出いただいている場合は不要)
- ・面談料(患者様ご本人が面談にいらした場合、健康保険が適応となり診察料が発生します。ご家族のみお越しいただいた場合は面談料3000円+消費税が発生します)



待機

ベッドの空き待ちをする場合は順番待ちとなります。

入院日決定

お電話にて入院日の相談を
させていただきます。



＜緩和ケア病棟 入院諸費用＞

●医療費

【社会保険】3割負担

【国民健康保険】3割負担（一部1・2割負担あり）

〈後期高齢者医療被保険者証・高齢受給者証をお持ちの方〉

★1ヶ月上限額

【1割負担】57,600円

【市町村民税非課税世帯（区分Ⅱ）】24,600円

【老齢福祉年金受給者等（区分Ⅰ）】15,000円

【3割負担】（区分Ⅲ） 252,600円+（医療費-842,000円）×1%

（区分Ⅱ） 167,400円+（医療費-558,000円）×1%

（区分Ⅰ） 80,100円+（医療費-267,000円）×1%

※詳しくはお持ちの後期高齢者医療被保険者証・高齢受給者証をご確認下さい。

●食事代

区分		食事療養標準負担額
【1】	現役並み所得者・一般	1食につき490円
【2】	低所得者Ⅱ 過去1年の入院日数が90日以下	1食につき230円
		1食につき180円
【3】	低所得者Ⅰ	
		1食につき110円



●室料差額（緩和ケア病棟）（税込み）

当院ではご希望により個室に入院される患者様に対しての1日の特別料金を頂いております。

【個室C（トイレ・バス又はシャワー）】8,800円/日

【個室D（トイレ）】6,600円/日



●その他（税込み）

【家族控室利用時の寝具使用料】一組1,100円/日（※利用開始から24時間以内を1日とします）

【お看取り後の整容等】整容・エンゼンルメイク等 22,000円、寝巻き 3,300円

※上記以外の入院諸費用については別紙「入院のご案内」をご参照下さい。

＜緩和ケア病棟 保険外費用＞

※保険外費用は医療保険とは関係なくかかる諸費用のことです。

●おむつ代

尿とりパット	66円/枚	リハビリパンツ (M-L)	121円/枚	フィットテープ(S)(M)	143円/枚
安心パッド多いタイプ	121円/枚	リハビリパンツ (L-LL)	132円/枚	フィットテープ(L)	176円/枚
スッキリ吸水ナプキン	66円/枚	リハビリパンツ (XL)	231円/枚	背もれ・横もれ防ぐテープ式	176円/枚

(税込み)

※おむつの持ち込みについては、医療ソーシャルワーカーにご相談下さい。

●病衣貸与代

☆（契約申込）使用申し込みされる場合は病棟スタッフステーションにお申し出ください。

☆（臨時）自宅から持参していただいている衣服が不足した場合
病院より下記病衣等（有料）を貸与することができます。

病衣(ゆかた式)	77円/日
病衣（上下式）	77円/日
トレーナー（上下）	110円/日
つなぎ	110円/日

(税込み)

※上記以外の保険外費用については別紙「入院のご案内」をご参照下さい。



«Q & A»

告知をされていなくても入院はできますか？

病棟の特殊性のため、原則としては、告知していただいている。しかし、状況に応じて、検討させていただきますので、相談してください。

緊急入院はできますか？

空床状況や予約状況に応じてできるだけ速やかに入院をお受けさせていただきます。救急指定病院ではないため、緊急入院の体制が整っておりません。ご不便をおかけしますが、まずは担当医にご相談ください。

認知症でも入院できますか？

がんによる辛い症状に乏しく、認知症症状のために入院をご希望になっている場合には入院をお断りすることがあります。また、緩和ケア病棟では過度の身体拘束は行っていませんので、徘徊や大声を出す等の行為がある場合、入院生活は困難かもしれません。

緩和ケア病棟に入院した場合の期間はおおよそどの程度ですか？

約1ヶ月程度です。（平均在院日数）

外来通院はできますか？

第二協立病院(一部の診療科を除く)は、入院治療に特化しているため、外来治療は行っておりません。

緩和ケア病棟では、どんな治療をするのですか？

抗がん剤治療や放射線治療などの、がんに対する積極的な治療は行いませんが、がんによって起こる痛み、食欲不振、吐き気、息苦しさ、体のだるさ、不安、不眠などの不快な症状を緩めて和らげる治療をいたします。

点滴の実施や 胸の水(胸水)やお腹の水(腹水)は抜いてもらえますか？

効果や負担を考慮した上で、お体の状況に応じて行います。

痛みの緩和をする目的で、放射線治療はしていますか？

当院では痛みの緩和を目的とする放射線治療は行っておりません。ご希望される場合は、実施施設に転院して頂く必要があります。

補完代替療法・民間療法・サプリメント摂取などはできますか？

緩和ケア病棟で補完代替療法などを提供することはありません。当病棟で提供する治療やケアに支障がないものを、患者様・ご家族様の責任において行っていただくことは可能です。使用前に医師にご確認ください。

モルヒネについて教えてください

痛みの治療にモルヒネは大変有効で、かつ安全なお薬です。モルヒネというと麻薬で怖い薬、麻薬中毒になる、最後の手段などの誤解がありますが、そのようなことは決してなく、正しく使えば中毒になることはありませんし、最後に使うお薬でもありません。WHO（世界保健機関）が「がんの痛みからの解放」を提唱し作り上げた「WHO方式がん疼痛治療法」を中心となるお薬です。モルヒネに限らず痛み止めは体に良くないから我慢するべきと考える人がよくいます。痛みを我慢することは体にストレスとなり、不眠、食欲不振などを招き、生活機能、体力を低下させますので、いたずらに痛みを我慢する必要はありません。

入院した後、体調が良くなった場合は退院することはできますか？

もちろんです。退院をご希望される場合は退院支援をさせて頂きます。また、当院緩和ケア病棟退院後、再入院が必要となった場合には、優先的に対応させていただきます。

レクレーション等はあるのでしょうか？

毎月、季節に合わせた行事を行っております。（夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、節分等）また、ボランティア導入により、演奏提供等が定期的に行われています。

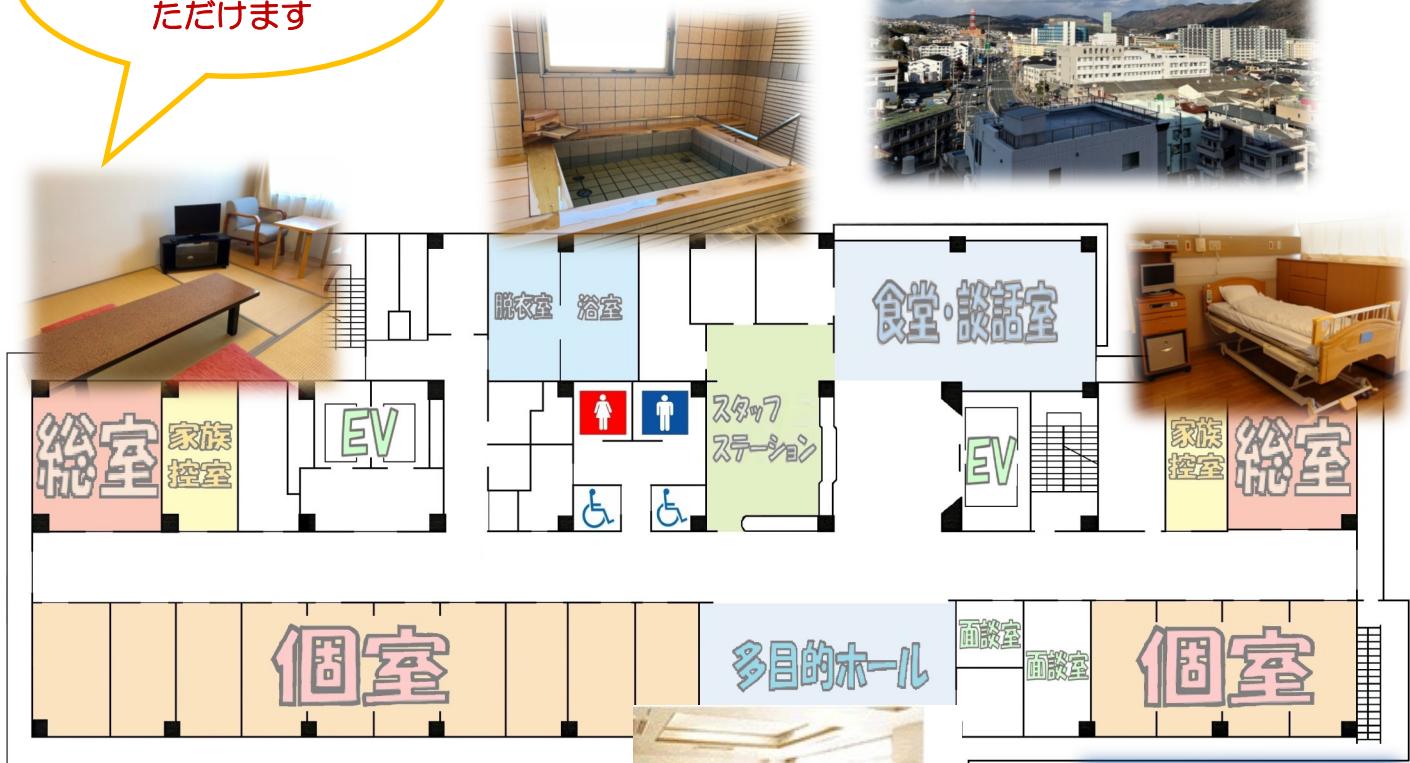
ペットやタバコ、飲酒はいかがでしょうか？

タバコは全面禁煙となっております。ペットは面会可能です。飲酒については、たしなむ程度であれば、許可しておりますので、看護師にご相談ください。

【病棟案内】 病室22床（個室14床、総室4人部屋×2）

家族控室
ご家族様も宿泊い
ただけます

食堂からの景色



個室
陽射しが差し込む
落ち着いた部屋です



病棟内設備

- ・キッチン
- ・コインランドリー
- ・自動販売機

※一般浴が困難になられた患者
様にはライン浴のお手伝いをさ
せて頂いています

交通アクセス



- 阪急川西能勢口下車北へ徒歩7分（阪急梅田駅より約23分）
- JR川西池田駅下車北へ徒歩15分（JR大阪駅より約23分）
- [北向き] 川西バスターミナルより、杉生線もしくはけやき線乗車、日高町下車徒歩2分
- [南向き] 川西バスターミナル・JR川西池田方面乗車、日高町下車すぐ
- 病院向い側（第1・第2）駐車場あり
- お帰りの際は、タクシー呼び出し専用電話（電話料金無料）をご用意しております（阪急タクシー・朝日交通）



〒666-0033 兵庫県川西市栄町5番28号 TEL 072-758-1123 (代表)